

かいぞう



かわいい鬼の勢ぞろい —— 保育園での豆まき ——

節分

心の鬼を追い払う

古い時代から宮中では、追儼（ついな）と称する鬼追い行事が行われてきましたが、現在各地の神社では、主に節分に、豆まきにて鬼を追い払うやり方と、宮中行事にのつとつた方式との二通りが行われているようです。

ここ、海蔵保育園では、園児全員が手作りの鬼の面をつけて勢ぞろい。保育さんから「みんなの心の中にある鬼を追い払いましょう」と話をしてももらい、早速、小雪のちらつく中で豆まきが始まりました。

明けて立春

春とは名ばかり……。

でも、うららかな陽を待つ人々の気持ちは、古今、変わらないものです。

春たちける日よめる 紀貫之
袖ひちて

むすびし水のこほれるを
春立つけふの風やとくらん

（古今和歌集）

四日市萬古焼産業の歩みと今後への対応

萬古陶磁器工業協同組合 専務理事 松本賢一

四日市萬古焼は、その発祥以来二四〇余年の伝統を有しており、県下の産業の中でも典型的な伝統産業の一つであります。

第二次大戦中、生産が一時途絶えたことや、昭和二十年六月十八日にB29を主力とする大空襲の下で、生産設備の約八割と販売業者の施設はほとんど灰燼と化したこともありましたが、戦後急速に生産体制を立て直し、高度経済成長の波にのり、量産

志向の中で拡大発展したものであります。この間、輸出が再開され、トネル窯の全盛時代があり、花器、土鍋が全国的にその市場性を高め、更には植木鉢、どら皿がブームの人氣を背景によく売れ、又、産地間屋が贈答用セットの企画を成功させたことなどにより、生産量、生産額において、全国でも三指に数えられる産地を形成するに至りました。



しかし、この発展の原動力は、一般的にみて品質面で他を凌駕するものを有するというよりも、小廻り性を生かしたコスト競争力に負う面が強かったからだと考えられます。このような成長過程をたどってきた当産地も、近年大きな転機を迎えています。即ち、造れば売れる労働集約型の時代から、個性化、高級化への知識、技術集約時代、十年



一昔の時代から一年一昔の時代へと、その変遷にスピードが増して来たことにあります。こうしたことから、今後への基本的な考え方として、各業者は、

「将来に向けて、グローバルに大きく目を見開いて、己のポジションをしっかりと見極めてゆくこと」

だと思います。そのためには、国際的視野の拡大、後継者の育成、技術力の強化、デザイン開発力の育成、更には、取引のネットワークが確立されたことにより、品性の高い人間性の陶冶等々が考えられます。

最近、骨折する子どもがふえたと言われます。

原因はいろいろあると思いますが、栄養上からだけいえば、おそらくカルシウムの摂取不足だと思えます。かんたんにカルシウムが不足しているから骨折するといふのではなく、その他にも考えられることは、いろいろな生活のアンバランス、毎日の生活習慣のみだれ……、こういったところにも大きな原因があると思われれます。

骨をより丈夫にするには、ビタミンDの働きが必要です。イワシなどビタミンDを多く含む食品を食べる機会が少なくなっています。太陽にあたれば、ビタミンDは体内でもつくられますが、これが生活化されたものでなければ骨に役立つ働きをしません。生活化するところは腎臓と肝臓です。腎臓や肝臓に何らかの機能障害があれば、骨はもろくなるわけです。

骨を丈夫にするために大切なものは、ビタミンCです。ビタミンCの不足も、体の中のコラーゲンが充分作られず、この結果、骨がもろくなってしまうのです。だから、カルシウムだけの不足と考えると、栄養面全体から、人間の体にはカルシウムもビタミンDもCも必要であるといふことが、おわかり頂けたと思います。毎日の食生活の上で、子どもたちの健康のために、お母さんたちはあらゆる手だてを惜しんではならないと思えます。できるだけ新鮮な食品を求め、調理方法もよく考えている

骨折多い子どもたち

その原因を考えてみて

海蔵小学校 小林栄子

か、また普段見過してきた食品の中に、もっと栄養的に効率のよい食べ方のできるものはないか、等々ちよつとした努力が、子どもの健康を守る近道になるのではないのでしょうか。学校でのけがを調べてみますと、昭和五十六年骨折が6件、五十七年で3件、五十八年の十二月までに9件あります。五十八年の骨折についても、六月に2件あっただけで喜んでいたところ、九月からパタバタと骨を折り、7件も増えたわけです。

三角布で不自由に吊っている子どもを見て、胸のいたむ日々でした。運動のシーズンとなり、遊びや運動が激しくなったためにおこった骨折ばかりとは言えないところが悲しいのです。勢いよく走っていて骨折、又は、階段の手すりから落ちて骨折、高とびで着地に失敗して骨折……、子どもたちの動きの中に何か不十分などところがあるために起っているのです。

敏捷性、事故にあう直前の身の処し方の不足、運動能力の低下のためか、戸外での遊びなども、今では少なくなってきたため機械に動けないのか……。事故を防ぐ手だてとして、今後学校でも考えていかなければなりません。

子どもたちが心身共にすこやかに育つためには、体に不調のない、さわやかな、いきいきとした生活ができる日々である様にとっております。

一、はじめに

先日、一宮市教育委員会博物館建設準備室事務局長の岩野見司先生が来庁され、史料調査委員会の席で、市史編さん事業についての困難さを多々指摘されました。

なかでも、地名の扱いは大変重要であり、多くの史実のすき間を埋めるものとして見のがしはならないことが強調されました。確かに、従来では考えられなかった民俗学的手法により、地名研究が急速な発展をしています。

このような地名研究の動向や地名が悪い方向へ改変される様子については、前々号に詳述しました。その成

海蔵地区の地名を調べて

四日市市教育委員会社会教育課主幹 森 逸郎

果は、三重県においては、昨年春に相ついで刊行された「三重県の地名」や「三重県地名大辞典」などとなつて世に出ています。

上記二書には、前号でとりあげた海蔵村の成立から消滅に至る様子が詳細に述べられています。同様に、西阿倉川・東阿倉川・野田・末永などの各村邑の動きもわかりやすく解説され、最近の町名までも項目としてとりあげられています。

二、末永村の動き

海蔵村の南部の沖積平野に位置する末永村は、北は海蔵川、南は三滝川に囲まれ、西は野田村、東は浜一色村に隣接した地域でした。現在では、陶楽町・本郷町・京町・滝川町などとなっている地域です。もちろん末永町も入っています。

置する末永村は、北は海蔵川、南は三滝川に囲まれ、西は野田村、東は浜一色村に隣接した地域でした。現在では、陶楽町・本郷町・京町・滝川町などとなっている地域です。もちろん末永町も入っています。

鎌倉時代に書かれた「神風抄」に、初めて「末永御厨」という地名が出てまいります。しかしながら朝明郡末永御厨となつていきます。

末永は、末長とも書いていた

合戦で桑名城主は本多忠勝となつて元和二年まで本多氏の給地でありました。

しかし、末永村の一部は、四日市代官所の支配地でもありました。この一部は、寛文年間の地図には「橋本町」とされる地域で、のちには「川原町」と称されました。この橋本町を通りぬけ、浜一色村と末永村の境を東海道の往かんが通つていました。今の川原町から京町に至る旧東海道がそれです。

享保十一年には、末永村天領分村高は四四六石、私領(有馬氏領分)二五二石とされていきます。

完成するのは十九世紀になつてからであるが、願い書に連ねた末永村の庄屋は、天領が忠左衛門及び与左衛門とある。

有馬領は、弥左衛門が庄屋として連署している。

この他にも、安政年間など幾たびか洪水に苦しめられ、絶えず海蔵・三滝両河川の改修が行なわれてきた。

福祉ポスター・習字展 受賞者決まる!	
地区社協主催の、小・中学生によるポスター・習字展が実施されました。多数の応募のうちポスターは館増男、習字は羽場仁郎の両先生による厳正なる審	受賞者氏名 (敬称略)
<p>■ポスターの部</p> <p>〈市長賞〉 小六 生川 剛</p> <p>中三 山本 康代</p> <p>〈社協賞〉 小六 熊本 智子</p> <p>中三 大川 美幸</p> <p>〈ユニー賞〉 中三 内田 亨子</p> <p>〈百五賞〉 中二 岡本 里美</p> <p>〈北信賞〉 小六 大島 英士</p> <p>〈三銀賞〉 小六 堀内 智美</p> <p>〈銀賞〉 小六 山本 雅治</p> <p>小六 西村 祐香</p> <p>中二 館 祐紀</p> <p>中三 渡部 洋己</p> <p>小五 小山 かつり</p> <p>小六 門馬 聡子</p> <p>小六 萩 知子</p> <p>小六 宮部 明子</p> <p>中一 鈴木 健治</p> <p>中二 安井 亜樹子</p> <p>中三 館 和毅</p> <p>中三 後藤 直美</p>	<p>■習字の部</p> <p>〈市長賞〉 小五 石崎 充</p> <p>小六 大島 英士</p> <p>〈社協賞〉 小五 松井 英樹</p> <p>中一 山本 真生</p> <p>〈ユニー賞〉 中二 山本 真紀</p> <p>〈百五賞〉 小五 一海 めぐみ</p> <p>〈北信賞〉 中一 澗 三重</p> <p>〈三銀賞〉 小五 金原 伸一</p> <p>〈銀賞〉 小五 郷原 千津子</p> <p>小六 伊藤 みさ代</p> <p>小六 森田 陽子</p> <p>中一 金原 絢子</p> <p>小五 伊藤 佳奈美</p> <p>小五 小山 かつり</p> <p>小五 井田 典子</p> <p>小五 伊藤 知恵</p> <p>小五 渡部 圭一</p> <p>小五 稲垣 敦子</p> <p>小六 中島 裕子</p> <p>中三 宮崎 博美</p>





11月6日に行われた海蔵地区連合運動会。秋晴れのもと、児童生徒、婦人、成人、高令者と、幅広い層より大勢参加があり、楽しい一日でした。その日のスナップを掲載いたします。

連合

↑
男20人、女10人のチーム。
力いっぱい引いて、
後は「あ〜しんどー」
↓



山手町の男達の姿



町別リレー

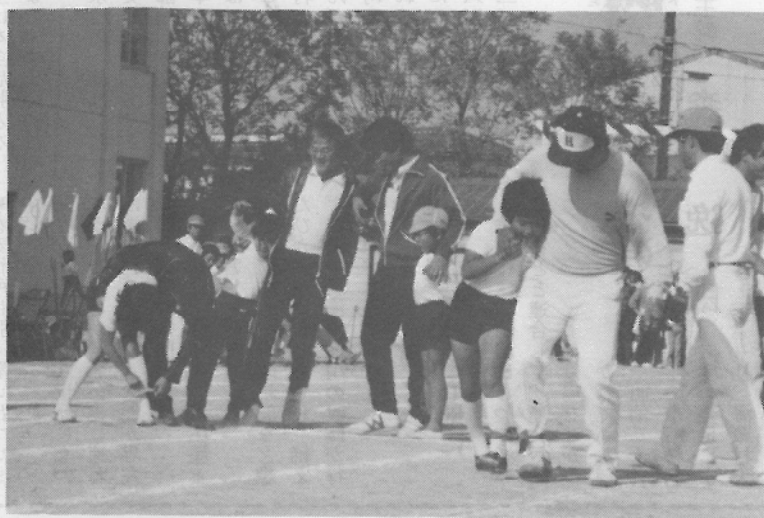
町の名誉にかけて(?)一生けんめい走りました。決勝では、松ヶ丘チームが優勝しました。

お母さんは目かくし、子どもさんは
タンバリンをたたいて道あない

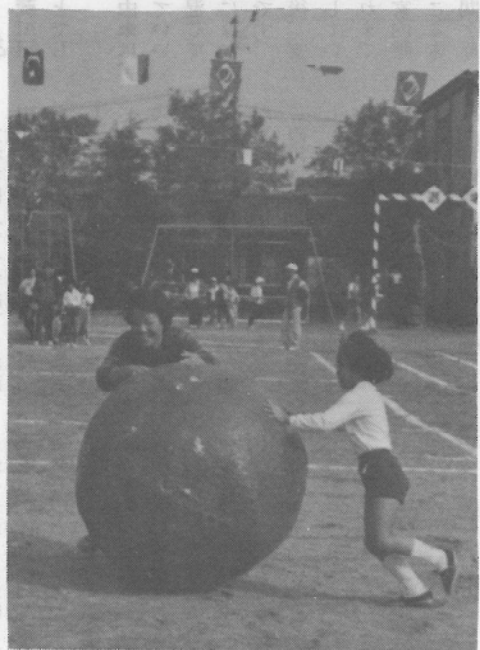


各堂々の入場行進

運動会 スナップ



親子二人三脚 お父さん頑張ります



母親と子どもの「大玉ころがし」



幼児のはたとり競走では泣き出す子も

大きな玉でゲートボール競走

中学校では十分な成果



例年行なわれております市長を囲む地区懇談会が、十一月二十五日、地区内関係団体代表者の出席のもと実施されました。市側からは、市政の一環として「都市提携について」の話がなされ、また住民側からは実践報告として「青少年健全育成」、「街の美化」に関しての発言・発表が出されました。ここにその要旨をお知らせ致します。

家庭・地域での取り組みを...

都市提携 — その意味と意義 —

司会（館長） 先ずはじめに、市政を広く理解して戴くということから、今回は「都市提携について」市長がお話致します。



加藤市長 四日市は、アメリカのカリフォルニア州ロングビーチ市と今から二十年前に、中国の天津市とは四年前に都市提携を結んでおります。また四日市港とオーストラリアのシドニー港が、港同士の提携を十年程前からやっております。

さて、都市提携とは一体どういう意味を持っているのかと申しますと、かつてアメリカの大統領であったアイゼンハウハーが提唱した都市提携運動に、その理念が見られます。「ピープル・トゥ・ピープル」、つまり、人と人との交わりを通じて世界平和を確立し、二度と戦争による悲惨な思いをすることのないようにしたいとの願いであります。ですから、要するに文化、経済、スポーツ等々の交流を通

して、人間同士の付き合いを深め、各国の国民性は違ってもよく理解し合い、平和や互いの繁栄に役立つということとするものがございます。

例えば、ロングビーチの港には、日本車陸揚げ用モータープールがありますが、貿易摩擦の真つ只中にあっても、向こうの人たちは比較的良好理解を示してくれます。日本車はコストが安い、燃費が良い、故障が少なく……と。

また、向こうの人たちが来た時に、陶器の製造工場を見せて欲しいと言われ、ご案内する。このことが万古焼の貿易振興に寄与しているわけです。

そうした意味では、普段からの何げない付き合いが、こんなところにも現われていると考えております。

それでは、具体的にほんのなことをしているかと言えば、対ロングビーチ市では、一つに交換学生の交流があります。公的には、教師一人に生徒二人を一ヶ月間向こうへ送り、ホームス

テイをやる。翌年にはアメリカからも迎え、日本の生活をして戴くという相互交流。

その他、国際親善英語弁論大会や通信の水泳記録大会、図書交換等があり、民間ではY M C Aの交換学生派遣等々があります。

他方、天津市とはどうであるかと申しますと、公害対策についての研究・対策に技術屋さん

の派遣、四日市港との間に定期航路の開通、あるいは、石油化学の技術提携など、経済関係の交流、またサッカー少年団の派遣に見られる青少年の交流、さらには先生の訪中による教育視察などがあげられます。

さて、国際間の交流というものは、十年や二十年では本当のところ、成果は出て来ないでしょう。五十年、百年と繰り返し

係が出来つつあること、の大きくはこの三点をあげることが出来るのではないかと思います。

司会 一昨年テーマとしてあげました青少年の健全育成につきまして、その後の経過、これからの課題等、ご意見、ご提言をお願い致します。最初に「学校教育に対して」ということで、山手中学校PTA会長の嶋津さんをお願いします。

山手中の現在の姿 教職員の努力に感謝



嶋津氏 山手中学校の二年前までの状況につきましては、皆様よくご存知のことですから省略させていただきます。

現在の中学校は、これが二年前と同じ学校かと思われ、大変落ち着いた、教育の場である学校本来の姿にかえりつつあると私は思います。学校を訪れると、すれ違う生徒たちの多くが快くあいさつをし、また、授

繰返し行なつて実りあるものになると考えております。

以上、概略交流の意義、あるいは実態ということをお話し申し上げ、皆様のご理解を戴きたいと存じます。



業も、今日は休みかな？と一瞬思える程、静かになされております。

その結果はどうでしょう。学習面で見ると、三年生の進学統一模擬テストでは、市内の公立中学で常に第一位であります。スポーツの面でも、先日の新入戦では確か優勝、その他準備優勝など大変好成績を納めた聞いております。

では、どの様にしてこんなに良くなったのかと考えますと、第一に、先生方の一致協力した努力の賜と言えらるでしょう。第二に、父母、地域、学校との相互信頼の回復。第三に、先生、親、地域社会の相互連帯協力関

係が出来つつあること、の大きくはこの三点をあげることが出来るのではないかと思います。

特に第一点では、横井校長先生を先頭に、全教職員の方々が寝食を忘れる程に生徒指導や授業にあたられ、生徒たちも、その真摯な姿に導かれていったと思えます。

しかし、もう将来心配はないかと申しますと、明日にもマスクミを賑わす様な事件が起らないとも限りません。それは、この山手校区だけ良くなっても、鎖国をする訳にはいかないのです。

市長さん、教育長さんにお願致します。隣の地区を、そして四日市全市を、この地区より良くなります様に「ご尽力戴たく存じます。

現在の良い状況が、決して砂上の楼閣とならない様、関係各位にお願ひし、私たち父母も今一層の努力を致すことをお約束して、私の発言と致します。

授

青少年問題

今後は



司会 ありがとうございます。続きまして、海蔵小学校PTA会長の熊本さんから「家庭教育について」ご発言をお願いします。

各家庭で見直そう 子どもの基本的な生活習慣を



司会 ありがとうございます。続きまして、海蔵小学校PTA会長の熊本さんから「家庭教育について」ご発言をお願いします。

熊本氏 山手中が一番荒れていた頃、私がPTA会長をさせてもらって、一昨年のこの場では、生意気にも学校や先生方を批判致しました。現にそうした声は、多くの父母の中にあ

市長を囲む 地区懇談会

都市提携 青少年問題 街の美化

司会 どうもありがとうございました。それでは次に「地域の取り組み」ということで、青少年協会の小沢さんをお願いします。

例えばラジオ体操・ジヨギングなど 今地域で何らかの取り組みを



小沢氏 地域の取り組みとして、子供育成会の活動があります。各種の行事を通じて、相互の親睦と協調、規則を守ること

熊本氏 山手中が一番荒れていた頃、私がPTA会長をさせてもらって、一昨年のこの場では、生意気にも学校や先生方を批判致しました。現にそうした声は、多くの父母の中にあ

このことを痛切に感じた地域の親達には、自らの手で少しでも我が子を見直そう、という気が

談会はかなり成果が得られたのではないかと感じております。出席された方々から「大変良かった」と心からおっしゃられる声をよく耳にしました。

さて、こうした中で最近、朝型のリズムある生活をさせることの大切さが強調されておりますが、それを近所で、地域で取り組むために、例えばラジオ体操を実施してはどうかと考えますが、如何でしょうか。隣近所近所誘い合って早起きをし、体を思い切って動かす、はつらつとした一日を送るようになら

今、何か具体的な行動に移す時期に来ている様に思われます。

運が高まってきた様に思われます。

特に子どもたちの基本的な生活習慣の問題、子どものうちにきちんと身につけなければならぬ事などを、家庭で確立させることがとても大切なことであると考え、実行する様になつてきました。

この間、鳴津さんの発言にもありました様に、山手中は良くなりはじめ、父母の先生批判はなくなるどころか、信頼が厚くなつて参りました。こうしたことがあいまつて、現在の山手中学校があるんじゃないかと思われ

やはり、一番大切な生活の場である家庭での教育を、今後とも地域の皆さんで、話し合いやら、研修の場を設けて考え合ひ、すこやかな子どもを育ててゆきたいと考えます。

コメント

司会 ありがとうございます。市側からまとめてコメント申し上げます。

教育長 二年前、身の縮み思いでこの席にいたことを思い出します。今、良い方向にあるのは、地域も先生も、皆さんが努力して戴いた成果であると痛切に感じ、喜んでおります。

今後、さらにご尽力されませう、是非ともお願い致します。

清掃管理課長 清掃業務に何かとご協力を賜り有難うございます。

さて、市の指定袋の件ですが、ごみ袋として使用するについては、強度に問題ないと判断しております。また袋の大きさは、あちこちから要望が出されてお

司会 お三かた、どうもありがとうございました。このあと「街の美化」について中島連合自治会長さんよりお話しいただきます。

街の美化 ごみ問題—市はどのように



中島氏 ごみ問題について、一言申し上げます。

先ず第一点はごみ袋の件ですが、今度の袋は弱いか、我が家に合ったサイズがないとか言

買ひ物袋は、まだほとんど新材質になつておらず、なんとか早い機会に利用出来る様になら

とにか、今後も粘り強くお願いにあがります。

焼却炉を長持ちさせるため、新指定の低燃性袋の使用や、ごみの分別収集にご協力をお願いしている次第です。

乾電池及びダイオキシンについては、各関係機関と連絡をとり、研究、対処しているところで

尚、今後とも一層のご理解とご協力をお願いします。

司会 これで本日の懇談会を終了致します。



センター新築工事

夏には完成・移転の予定

昨年十二月より、海蔵小学校西側に、海蔵地区市民センターの移転・新築工事が始まりました。

二九〇四㎡の敷地に、鉄筋二階建、一階部分三二二㎡、二階部分三〇〇㎡の計画規模となっております。

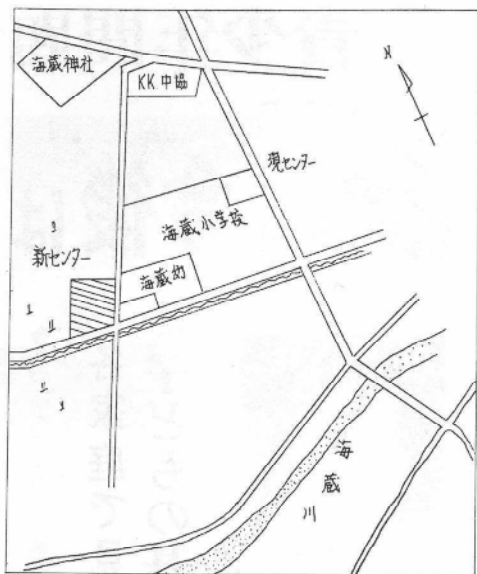
現在、工事は順調に進み、ほぼその姿を見せるに至っておりますが、五月末までに本体工事が完成、消防団車庫、植込み、敷地の整備等の付帯工事をも含めて、全部が完了するのは夏ごろになる予定です。

さて、地区市民センターは、住民自らの手でなされる住み良い地域づくりに寄与し、その拠点となるのですが、このセ

ンター構想に基づいて、旧出張所の改築工事が行なわれて参ったわけです。

既に各地区市民センターでは住民の方々が、従来からの住民登録や印鑑証明などに代表される窓口事務の他、各種団体の会合や、教養、趣味、その他いろんな学習の場として利用されてきております。

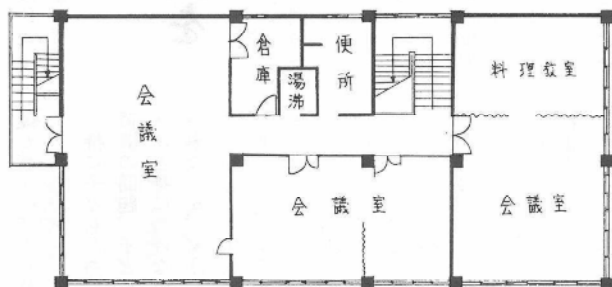
今まで、当センターでは充分な活動の場がなく、海蔵地区の皆様には、大変ご迷惑をおかけ致して参りましたが、遅まきながら施設完成後は、他地区と同様、優れた文化、教養、そして豊かな地域づくりの場としてご利用願えるものと思っております。



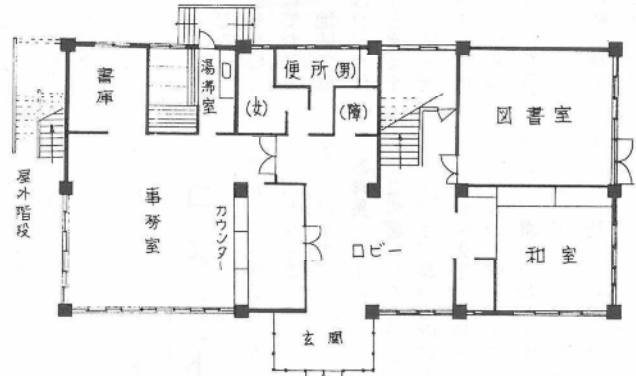
新センター位置図

後日、移転の期日が決定しましたら改めて皆様にご案内致しますが、とりあえず新センター建設の現況をご報告申し上げます、この間、何かとお世話戴きました皆様には誠にありがとうございました。

海蔵地区市民センター館長 杉野庄衛



〈2階〉



〈1階〉

海蔵地区民生委員のみなさん

氏名	住居所	電話	担当町名
上村 政巳	みゆきヶ丘二丁目	31-2976	みゆきヶ丘一丁目 みゆきヶ丘二丁目
野崎 要太郎	西阿倉川町二区	31-0150	西阿倉川町三区 西阿倉川町四区
平野 昭夫	西阿倉川町四区	31-5203	西阿倉川町二区 松ヶ丘
水谷 幸二郎	西阿倉川町五区	31-0400	西阿倉川町一区 西阿倉川町五区
山梨 喜一	東阿倉川町一区	31-6041	東阿倉川町一区 東阿倉川町二区
森 政雄	阿倉川町	31-0945	阿倉川町
水谷 敏彦	万古町	31-2349	万古町
伊藤 かなえ	三ツ谷町南区	31-5853	三ツ谷町東区 三ツ谷町南区
眞弓 英子	三ツ谷町西区	31-5679	三ツ谷町西区 三ツ谷町北区
石崎 日出子	本郷町二区	31-1476	本郷町二区 本郷町一区
小野 ひさ系	末永町二区	31-6851	末永町8~13番
伊藤 健一	末永町一区	31-7679	末永町1~7番
辻 謙一	野田二丁目	31-6993	野田二丁目 野田水町

民生委員の交代 野崎さんから 平野さんへ

野崎さんが昨年十一月末をもって民生委員の職を退かれました。在職中は、海蔵地区の福祉向上にご尽力され、その功績は誠に大なるものがありました。心から御礼申し上げます。今後とも何かとご指導賜りますようお願い致します。

尚、後任として、西阿倉川四区の平野昭夫さんが任命されました。担当地区は西阿倉川二区、松ヶ丘です。

他の方は全員再任され、引き続きお世話して戴くことになりました。担当地区も従来通りです。よろしくお願致します。

編集後記

ここ二三年前から雪日の多い冬となっております。晴天のカラッ風も身にこたえますが、雪の日はさらにつらい思いがします。

しかし曇天、雪日がほとんどの日本海側ではどうでしょう。

高山出身のAさんは言います。「僕は耳をおさえて、じっと春を待つんです」

この言葉の中に、気候や風土が人間を育くむその要素がみられます。

暑さ寒さも彼岸まで…。芽の吹く時期も、もうすぐそこ。

地区広報編集委員会